

Q-1 昨年の採用試験の受験者数や倍率を教えてください。

A-1 昨年実施した採用試験の結果は下表のとおりです。

9月試験														
区分		採用予定数	受験者			一次試験 (筆記)合格者数			一次試験 (筆記)倍率	最終面接 合格者数			採用者数	合格倍率
			男	女	計	男	女	計		男	女	計		
一般事務職	上級	15名程度	42	21	63	38	19	57	1.1	8	11	19	18	3.3
	中級		2	5	7	2	5	7	1.0	0	2	2	1	3.5
	初級		5	2	7	3	2	5	1.4	1	0	1	1	7.0
一般事務職 (身体障がい者)	上級	若干名	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	初級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般技術職 (建築・土木)	上級	5名程度	4	1	5	3	1	4	1.3	2	0	2	2	2.5
	中級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	初級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育士	上級	若干名	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中級		0	2	2	0	2	2	1.0	0	2	2	2	1.0
	初級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保健師	上級	若干名	0	3	3	0	3	3	1.0	0	1	1	1	3.0
	中級		0	1	1	0	1	1	1.0	0	1	1	1	1.0
	初級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建築基準適合判定資格者		若干名	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計			53	35	88	46	33	79	1.1	11	17	28	26	3.1

1月試験														
区分		採用予定数	受験者			一次試験 (筆記)合格者数			一次試験 (筆記)倍率	最終面接 合格者数			採用者数	合格倍率
			男	女	計	男	女	計		男	女	計		
身体障がい者	上級	若干名	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	初級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般技術職 (建築・土木)	上級	若干名	4	0	4	4	0	4	1.0	2	0	2	2	2.0
	中級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	初級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育士	上級	若干名	0	2	2	0	2	2	1.0	0	2	2	2	1.0
	中級		1	1	2	1	1	2	1.0	1	1	2	2	1.0
	初級		0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計			5	3	8	5	3	8	1.0	3	3	6	6	1.3

Q-2 職員の男女別の人数はどうなっていますか。

A-2 令和元年5月1日現在の職員数は、693人です。このうち、女性職員は317人(45.7%)、男性職員は376人(54.3%)です。30歳以下の若手職員で見ると、女性が58.7%、男性が41.3%と女性の占める割合が高くなっています。

Q-3 新規採用時の配属先は、どのように決まりますか。

A-3 一般事務職の新規採用職員は、採用試験申込書やエントリーシート、面接試験で聞き取った内容などを参考にしますが、基本的には市民の方と接する機会の多い窓口業務を行っている部署へ配置します。専門職(保育士・保健師等)は保有する資格等により関連の部署へ配置します。

保育士…市内8か所の保育所 **保健師**…国保年金課、子育て支援課、福祉課、健康づくり課、介護保険課、スポーツ課等

管理栄養士…国保年金課、保育課、健康づくり課、教育総務課等 **精神保健福祉士**…障がい福祉課、健康づくり課等

歯科衛生士…健康づくり課 **助産師**…子育て支援課、健康づくり課等

Q-4 採用後の配属部署の異動の周期や方法はどのように決まりますか。

A-4 人事異動は、概ね4～5年を基本とし、性質の異なる職場を組織運営に支障のない範囲で配置替えをしながら人材育成を図るための「ジョブローテーション」を実施します。なお、毎年12月に全職員に自己申告書を提出して頂き、異動等の希望を聴取し人事配置等の参考にしています。